

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスは確認されませんでした。今後とも、海色等には十分注意してください。また、魚類に有害なカレニア ミキモトイ及びカレニア パピリオナセアが最大で2及び2細胞/mLされました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大で16細胞/mL確認されました。

※（本日は、海水1mLでプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (9:00～11:00)	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	ギムノディニウム カテナータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*1	*3
藻津 下図① 透明度:6.0m	0	22.9	30.5	8.83	0	0	0	0
	5	22.8	33.3	7.96	0	0	0	0
	10	22.4	33.6	7.26	0	0	0	4
宿毛湾中央 下図② 透明度:8.0m	0	22.8	27.3	8.02	0	1	1	0
	5	22.8	33.2	7.35	0	0	0	0
	10	22.3	33.7	7.51	0	0	0	0
シラハエ 下図③ 透明度:6.0m	0	22.5	20.0	8.43	0	0	2	0
	5	23.0	33.1	7.95	0	0	0	14
	10	22.4	33.7	7.48	0	0	0	0
猩々簗 下図④ 透明度:6.0m	0	22.9	25.5	7.56	0	0	1	3
	5	22.9	33.2	8.00	0	0	0	16
	10	22.7	33.4	7.56	0	0	0	0
栄喜 下図⑤	0	23.2	31.9	8.68	-	-	-	-
	5	23.0	33.1	8.50	0	0	0	15
	10	22.3	33.6	7.37	-	-	-	-

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種

(細胞/mL)

\*2：魚類を弱らさせるおそれがある種

\*3：麻痺性貝毒の原因種

調査時間 (9:00~11:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*1	*3
青瀬山 下図⑥	0	23.1	27.5	7.01	-	-	-	-
	5	22.9	33.0	9.46	0	1	0	0
	10	22.4	33.5	10.86	0	0	0	0
ヒロウラ 下図⑦ 透明度:5.0m	0	23.1	24.7	8.39	0	2	2	0
	5	22.9	33.2	8.65	0	0	1	0
	10	22.3	33.8	8.00	0	0	0	0

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種

(細胞/mL)

\*2：魚類を弱らせるおそれがある種

\*3：麻痺性貝毒の原因種

※ 魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

